



高専通信

vol.1〈創刊号〉 富山高等専門学校



入学式

平成23年度 富山高等専門学校 学科生募集について

中学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者などを対象として、次の6学科に平成23年4月から学生を受け入れます。

入学者の選抜は、推薦によるものと学力検査によるものの2つの方法で行われます。なお、推薦選抜の募集人員は各学科とも入学定員の50%以内とします。

本郷キャンパス

機械システム工学科	入学定員	40名
電気制御システム工学科	入学定員	40名
物質化学工学科	入学定員	40名

◆推薦による入学者の選抜

<input type="checkbox"/> 願書受付	平成23年1月7日(金)～13日(木)
<input type="checkbox"/> 試験日	平成23年1月23日(日)
<input type="checkbox"/> 選考結果の通知	平成23年1月27日(木)
<input type="checkbox"/> 合格発表	平成23年3月4日(金)

射水キャンパス

電子情報工学科	入学定員	40名
国際ビジネス学科	入学定員	40名
商船学科	入学定員	40名

◆推薦による入学者の選抜

<input type="checkbox"/> 願書受付	平成23年2月1日(火)～4日(金)
<input type="checkbox"/> 試験日	平成23年2月20日(日)
<input type="checkbox"/> 選考結果の通知	平成23年2月23日(水)
<input type="checkbox"/> 合格発表	平成23年3月4日(金)

なお、両キャンパスで取扱いが異なる部分などがありますので、入試関係情報の詳細については学生募集要項または下記でご確認ください。

本校HP入試情報 <http://www.nc-toyama.ac.jp/>
本郷キャンパス学務課入学試験担当 電話 (076) 493-5498
射水キャンパス学生課入学試験担当 電話 (0766) 86-5145

平成22年度 後学期 授業&行事スケジュール

月	本科	専攻科	学外行事
10	・ 県外工場等見学 ・ 合同球技大会	・ 入学式(海事システム工学専攻)	・ ロボットコンテスト(東海北陸地区大会) ・ ロボットコンテスト(全国大会)
11	・ 高専祭 ・ 就職ガイダンス		
12	・ 後期中間試験		
1	・ 推薦入試		
2	・ 学力入試 ・ 学年末試験 ・ 卒業研究発表会(商船学科を除く)	・ 特別研究発表会 (海事システム工学専攻を除く) ・ 修了式(海事システム工学専攻を除く)	
3	・ 卒業研究発表会(商船学科を除く) ・ 卒業式(商船学科を除く)		

編集後記

広報戦略室
増山圭一

この高専通信第1号は、本郷と射水の両キャンパスが1年前に統合して初めての広報誌です。広報誌の発行を担当する広報戦略室は、両キャンパスの各学科から1名ずつの委員と主要センターから選出された委員から構成されており、その内4名(本郷と射水2名ずつ)が本広報誌を担当しています。この担当4名は本年度になって初めてであったので、広報誌発行にあたり最初に議論したことは、広報誌のあり方でした。次に広報誌の名称や記事の内容について学生およびその保護者の方が何を知りたいのかを考え、読ませたいよりも読みたい広報誌を作ること目的として記事内容を選定しました。その間、内容、発行時期、総ページ数など議論を重ね、ようやく発行に至りました。

本来なら入学式に関する記事もあるため夏休み前を発行時期目標としておりましたが各委員初めてのことで意見を集約するのに時間がかかり、発行時期が遅れてしまいましたこと、お詫びします。最後になりましたが、高専通信はこの後2号、3号と続きます。さらに良いものを作るために良かった点、改めるべき点、こんな内容が読みたい等、広報戦略室宛にご意見いただければ幸いです。

「発刊に寄せて」

校長 米田 政明



高度化再編・統合により新しい国立高専「富山高等専門学校」が誕生して、早いもので1年が経過しています。昨年10月の統合から今年3月までの半年間は新高専の土台づくりに教職員一同エネルギーを注いできました。そして、4月5日、富山市芸術文化ホール(オーバードホール)で入学式を行い、新校歌と新校旗のもと、新学科への1年生を迎えることができました。この間、本郷キャンパス(旧富山工業高専)と射水キャンパス(旧富山商船高専)の学生の皆さん、保護者の皆様、そして後援会や同窓会には、1つの学校になったことに対して、暖かい御理解と多大な御支援をいただきました。この稿を借りまして、厚く御礼を申し上げます。

新高専の特徴は工学系4学科、人文社会系1学科、商船系1学科から成る分野多様性を持っていること、また2つのキャンパスから成っていることです。多様

な教育研究分野を有していることは、学生の皆さんに複眼的視野を広げ、複合的技術を身につけていただくことを可能にします。また、キャンパスが2つに分かれていることは、学生の皆さんや教職員の労苦は大きいものの、その分、合同学園祭や球技大会、カッターレース大会などの学生会を中心とした諸行事において貴重な達成感が得られるものと確信しています。そして、「創意・創造」、「自主・自律」「共存・共生」の教育理念の実現に向け、『融和』をキーワードとして前進して行きたいと思っています。

本誌、「高専通信」は新高専と学生の皆さんや保護者の皆様とのコミュニケーションを仲立ちする大切なツールです。学生の皆さんは、本校における学園生活での折々の「思い」を綴って下さい。教職員は教育研究に対する「熱意」を綴ります。保護者の皆様に、その「思い」と「熱意」がしっかりと伝わるよう、新生富山高等専門学校の「高専通信」が育っていくことを祈念申し上げます。発刊に寄せての御挨拶とさせていただきます。

誇りに思える母校のために

本郷キャンパス副校長 丁子 哲治



これまでの高専とは一歩抜きんでたスーパー高専として平成21年10月に発足した新高専も一周年となりました。初年度から大きく変革したところがいくつもあります。4月からは新しい制服に身を包んだ新入生を受け入れました。1年生前期の「ものづくり基礎工学実験」は、学生がキャンパスを移動して受ける授業です。キャンパスを超えた、各学科の特徴的な作業服や白衣を着て実験している様子は、実に新鮮です。また、本郷キャンパスでは統合前から引き続いて校舎の改修が行われており、新しく生まれ変わりつつあることが実感されます。現在の1年生が5年生になった時に新しい国立富山高専の完成となるのですが、大切なことは今在学している学生の皆さんはもちろん、これまでの卒業生も含めてこれからも母校を誇りに思ってもらえるか、ということだと思っています。誇りに思える母校を作り上げるのは、学生の皆さんであり、その手助け役である教職員であると考えます。

学びの方法

教務主事 本江 哲行



学びの主人公は誰でしょうか？ また、学びは終わることがあるのでしょうか？ これは、私が10年前から常々考えることです。皆さんはどうですか？記憶することを学びだと勘違いしていませんか？ 以前、教育手法を調査するためにデンマークの大学を訪問しました。その時、デンマークの先生が私に聞いたことです。その答えは、当然、学びの主人公は学ぶ人であり、学びは一生続くもの、そして、学びは楽しいことだと。さらに、東洋人がそのことを一番知っているはずだと言われ、老子の言葉を紹介されました。“聞いたことは忘れる。見たことは覚える。やったことはわかる。見つけたことはできる”。当然、理解したり、発見できると楽しくなります。これは、多くの人が自然に知っていることです。皆さんも自分の学びを考えませんか。高専は実体験型教育を実施している学校です。高専にいる時こそ、本当の学びを身につけてください。

Challenge!!

学生主事 川淵 浩之



ご存知の通り、昨年10月に新しい富山高専が誕生しました。それに伴い、新しいカリキュラム、新しい規則、新しい行事などが出来ています。私の昨年度のキーワードはChangeでした。今年度のキーワードはChallengeです。学生諸君と一緒に、元気な富山高専に少しでもなるようにChallengeしたいと思っています。それには、君たち学生諸君が心身ともに元気でなくてはなりません。また、人が何かをしてくれるのを待つのではなく、自分で何が出来るのかを考えてもらいたい。小さなことでもいいです。Challengeです。そして、それがこれからの君たちの大きな財産となることでしょう。但し、自分がしたいことだけを自由に、勝手にはできません。他の人の自由もあります。皆が安全に安心して学校生活を送れるようにするために規則やルールがあります。守ってください。最後に、富山高専は、君たち学生諸君あつての学校であり、君たちの夢の実現に、教職員一丸となって応援します。ですから、まず夢を持ちましょう。そしてコツコツ努力しましょう。奇跡は自分で起こすものです。

今夏の猛暑

寮務主事 安田 賢生



今年の夏の平均気温は統計のある1889年以降、113年間で最高を記録し、気象庁では今夏の猛暑を「異常気象」と捉えているという。その原因として偏西風の北への蛇行やフィリピン海付近の高水温など複数の要因が考えられている。この猛暑も9月8日にようやく一息つき、その日以降、寮生は少しは寝やすくなったのではないかと思います。現在、仰岳寮のエアコンは留学生の全室、1号館2階の一部および3号館全室に設置されており、寮生の約3割がその恩恵に浴しているが、残り7割の寮生は寝苦しい夜を過ごすざるを得なかったことと思います。しかし、お陰様で、今年の予算で年内に1号館2階全室と2号館3階にエアコンが設置され、さらに来年には4号館を除く全室にエアコンが完備される予定なのでもうしばらく待ってください。

実験や実習に真剣に取り組む学生の姿

射水キャンパス副校長 成瀬 喜則



高等専門学校の目的は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。そのために多くの実験・実習の時間が組み込まれています。工学系では実験をしてデータをとり、その内容についてレポートを書くという学習を徹底的に行います。また、ビジネス系では、語学の授業や、経営的手法を使ってプレゼンテーションをする学習が多くあります。さらに、商船系では、船舶のスペシャリストとなるために練習船若潮丸を使った実習を通して実践力を身につけます。5年間（専攻科を入れると7年間）の学習を通して身についた技術力は、学生にとっては大きな財産となると思います。社会は刻々と変化していきませんが、それに対応できる力を持った人材を育成することが、私たち教員の目標とも言えます。廊下を歩いていると、卒業研究に取り組んでいる学生や、実験・実習に真剣に取り組んでいる学生の姿を見ることが出来ます。将来の夢に向けて、一步一步着実に進んでほしいと願っています。

う 倦まず弛まず、ひとつひとつ

教務主事 遠藤 真



今年の夏は非常に暑さの厳しい夏でしたが、土日などを利用して、家のレンガ掘りにトライし、今も、暇を見つけてはレンガを積んでいます。このレンガ積み始めた頃、暑い中での作業が続くこと、作業自体も思うように進まないことなどから、途方もない作業を始めたことを悔み、山と積まれたレンガの数にうんざりし、レンガ掘の完成など不可能かとも思いました。材料を準備した手前、途中で止めることはできないと思っておして、やらなければならない作業のひとつひとつを重ねることに徹しました。夏の終わりには、少しは形となったレンガ堀となっていました。ひとつひとつのレンガを積んでいる時、思い出した言葉が“倦まず弛まず”でした。「あきることなく、おこたることなく、ものごとに取り組むこと。」を意味する言葉です。私が、今年の夏に、改めて学んだことでもあります。学習にも同じことが言えます。年度初めに教科書の厚さと難しさにうんざりするかもしれませんが、倦まず弛まず、勉強することで、年度末には、教科書の内容を理解してい

る自分に気づくことになると思います。倦まず弛まず、ひとつひとつ学ぶことは最も効果的な学習法でもあります。この地味で、確かな勉強の積み重ねこそが高専を支え、新たな高専を創るのだと確信しています。倦まず弛まず、ひとつひとつ学ぶことを始めて下さい。

心にきざめ！青春の輝き

学生主事 新開 純子



平成22年度第45回全国高等専門学校体育大会は本校が担当校となり、東海北陸地区の高専で各種競技が開催されました。本校は陸上、柔道、ソフトテニスを開催し、多くの学生がボランティアとして協力してくれました。炎天下の中、ただひたすら競技運営を支える彼らの姿は、まぶしく輝いていました。今年の大会のスローガンは、「心にきざめ！青春の輝き」です。裏方学生の輝きとこれまでの厳しい練習成果を発揮する選手の輝きが、富山高専生のすばらしさを印象付けました。ものづくりに取り組む輝き、クラブ活動に励む輝き、勉学に切磋琢磨する輝きなどなど、学生それぞれが自分の輝けることをみつけ、がんばってほしいと思っています。

幸運な人たち

寮務主事 北川 俊昭



人生でもっとも得難いものは何でしょうか。金品か名声か人脈か、それとも幸福な生活であろうか…。私としては、「運」だと答えたい。自力で運を呼び込むことはできない。努力する人に幸運が訪れると信じたいが、確実な保証があるわけでもない。4月に新生富山高専として新入生を迎えた。新学科の1期生である。志望校に合格するだけでも運がよいのに、最初の学生とか創立〇〇周年とか、一生にそうはない。当の本人には実感がないかも知れないが、不思議な巡り合わせなのである。1年生の教室で、5月実施の宿泊研修後、6学科全体で撮った写真をみた。入念に準備してきた諸行事をこなして充実感に満ち、かつ自然体の雰囲気が良い。これを眺めるたびに、本文タイトルが想起されるのである。専攻科生も含めて、このたび入寮した皆さんには、意識して新高専としての和海景を作してほしいと思っています。

学科長から在校生へ一言



新学科生に対して

機械システム工学科長 寺西 恒宣

機械工学科の第一回生は昭和39年に入学し昭和44年3月に卒業していきました。現在62～63歳。そして、いま、新学科「機械システム工学科」へ皆さんが入学してきました。昭和の高度成長期の時代から平成の今日までいろいろな変化がありました。変わらないことは、直面する様々な問題にくじけず打開していくことができる人材が望まれているということです。幸い、今年もこれまでと同様に、磨きがいのある優れた能力をもつ皆さんが入学してくれました。英語や国語、数学などの基礎科目や、機械システム工学に関する幅広い専門知識を身につけ、卒業してってください。「ものづくりの基礎から最先端まで！めざせ、未来のエンジニア」学科一同、応援しています。



機械工学科および電気制御システム工学科の学生へ

機械工学科長 兼 電気制御システム工学科長

西田 均

機械工学科にはいろいろな分野の企業から多くの求人があります。就職先には、機械製造業のみならず、エネルギー関係、鉄道関係、エレクトロニクス関係、そして、医薬品関係などがあります。しかし、安心してはいけません。今年の就職では、基礎学力があって、しっかりとした考えを持った学生が採用されています。企業はしっかり学んだ人を選んでいきます。

機械技術者には、「じっくり考え、アイデアを導き、創意工夫できること」が求められています。これは幅広い知識と基礎理論の修得によって可能になります。理論の修得では、公式等をただ覚えるのではなく、その導出過程をしっかりと理解することが大変重要です。これは技術を応用したり、研究開発したりするときに必要な役立ちからです。

これらのことを理解して、自分がどのような分野の機械技術者を目指すのか考えてみてください。そして、目標をみつめてください。目標があれば、専門の知識や理論をしっかり学ぶことができます。目標を持って、休まず怠けず、こつこつ努力してください。そして、企業から求められる人になることを期待しています。

電気制御システム工学科の1年生へ

電気制御システム工学科は知能化複合システムの開発と活用を支える技術者の育成を理念にした新しい学科です。具体的には、機械のわかる電気技術者の育成、電気わかる機械技術者の育成、あるいは、ロボットなどを設計・開発できる技術者の育成を目指しています。

このために、電気、機械、情報工学など多くの専門科目を学ばなければなりません。大変ではありますが、このことを理解してしっかり取り組む必要があります。これにより、就職や進学・編入においては、電気系、機械系、あるいは、制御情報系の幅広い選択が可能になります。

一般科目や専門科目に興味を感じたら、とことん調べてみてください。きっと、好きな専門科目が見つかります。そして、自分がどのような技術者を目指すのかをしっかりと考えていってほしいと思います。1期生のこれからの取り組みを大いに期待しています。



電気工学科の学生へ

電気工学科長 櫻井 豊

旧学科の学生諸君はあまり感じないかも知れませんが、新生富山高専の発足は「第二の創立」と言えるほどの大変革なのです。新しい学校でも旧い学校でも、新学科生にとっては新しい学校です。しかし、旧学科生は変化をつぶさに観察することができます。変革期に立ち会えるというのは大変エキサイティングなことですね。変革期は色々大変ですが、間違いなく活性度の高い時期でもあります。この時期に学生生活を送ることができる幸運を生き、変革をしなやかに悠々と乗り越えられる、ゆとりの力を身につけて行ってほしいですね。



物質工学科および物質化学工学科の学生へ

物質工学科長 兼 物質化学工学科長

後藤 道理

物質工学科の学生へ
学生の本分は勉強です。とにもかくにも勉強に時間を費やして下さい。殆どの人は学生の時にしか勉強は出来ません。世間では、いつでも何度でもやり直せるといいます。でも現実には違います。殆どの人は社会に出ると生活に追われ、よほど強い意志がなければ勉強など出来ません。極めて個性的な教員集団である物質工学科では、若いあなた達に基礎的自然科学の領域から、それらの応用に至る豊富な勉強の機会を用意していますので、いま我々を利用しない手はありません。もしもアルバイトをする暇があるのなら、その時間を勉強に費やして下さい。繰り返します。学生の本分は勉強です。

物質化学工学科の1年生へ
皆さんは大好きな自然科学を学ぶことによって、自然科学の新たな基本原理を見いだす力を身に付けたり、修得した自然科学の基本原理を用いて人に役立つ物や方法の開発力を身に付けるためにこの学科に入学したのだと信じています。

そのような“力”は一朝一夕には身に付きません。とにかく勉強に励んで下さい。当然、座学だけが大切なものではありません。あらゆる事柄に興味をもって、色々なことに気づき、疑問を持ち、それらを理解や解決する努力を習慣づけて下さい。

科学は本当に面白いです。4年半後の大きな成長を期待しています。



環境材料工学科の学生へ

環境材料工学科長 高橋 勝彦

環境材料工学科5年生の就職・進学状況は、この時点で進学希望者1名を残すだけとなりました。

早期に合格・入定をもらっている学生は、在学中に何をしてきたか、進学・入社後は何をしたいか、自分の考えを相手に理解しやすいように話せる学生です。在学生には、5年生の状況が明日の我が身と考えて、何を学び、何を身に付け、勉強以外では何を真剣にやるかを、改めて考え直すようお願いいたします。明日からでもいいので、何でも「おしえて」で留まっているのをやめて、自分で考え行動して実力をつけるよう努力してください。



今が大切

情報工学科長 兼 電子情報工学科長

水本 巖

1年生は、電子情報工学科に入学して、まだ本格的な専門の授業は始まっていませんが、後期から徐々に始まります。それまでは論理的思考や設計に必要な数学や物理、製品を諸外国に輸出する際に必要な英語力、レポートや論文を書くための文章力(国語)、技術者として社会や経済の動きを知ることは必須です。また体力があってこそ、いい仕事が出来ます(体育)。この様に全ての科目が大切であると考えます。やはり「今が大切」です。

4年生は、来年の春には進学・就職活動が始まります。その為には、今の時期から具体的に進路を考えなければ間に合いません。

3年生は、徐々に専門科目が増えてきて、戸惑いもあると思います。慣れるまで基礎学習というのはそんなものです。その内に馴染んで来ますから、少し辛抱して一緒に頑張ってください。

2年生は入学してからあっという間に1年間が過ぎたと思います。学習面での疑問は科目担当の先生に遠慮なく相談しましょう。まずは学習の習慣づけが大切です。最後に、各学年「今が大切」です。



選択の幅が広いということ

国際流通学科長 兼 国際ビジネス学科長

長谷川 博

これまで出口(進路状況)入口(志願倍率)共に好調であった国際流通学科の長所を引き継いで国際ビジネス学科が誕生しました。国際流通学科(国際ビジネス学科)からの進路は実に幅広く多岐に亘っています。地元の名の通った優良企業への就職はもちろん、外務省や税関などの国家公務員や県庁・市役所といった地方公務員、大学3年次への編入学では、法・経・経営・外・人文・国際など文科系のほとんどの学部がその選択肢となっていて、しかもそのすべてが国公立大学や有名私立大学です。

このように、進路選択の幅が広いということがこの学科の特長の1つであると言ってよいでしょう。しかし行き当たりばったりで決めていいということではありません。「自由には責任が伴う」の道理で、選択の幅が広いということは、その分だけ自分の志望を早めに明確にして対策をすることが求められるのです。一夜漬けでは何事もなすことはできません。まずは、これまでの先輩達の進んだ進路を参考に、自分の進むべき道を決めて、しっかりと準備をすることが必要です。

幅広い分野を学んでいるからこそその選択肢の広さではあるのですが、一方、大学に相当する高等教育機関で専門教育を受けているのだという自覚も忘れてはなりません。例えば、英語などの語学を武器とするならば、他に工学など専門分野を持っている人には英語では負けないというような自負を持つということ。自分の強みとすべきところは何か、常に自問して勉強に臨むようにしてください。



まず本物に

商船学科長 見上 博

なんのここと云いますと、「人間の質」とでもしておきましょう。商船学科は「船員養成」というよりも「海事技術者を育成する学科」です。いわゆる商船士官となるためには知識だけではなく徳育、体育さらには技量、センスなどが要求されます。我々はそれらを一まとめにしてシーマンシップと呼んでいます。

中でも「人間性」の部分での質の良さが強く求められます。最近の陸上企業が求める人材もやる気と人間性が大きな要素になってきています。思うに、名ばかりのブランドは評価に値せず、やはり人の本質が求められるようになってきたのは世の中の必然でしょう。ならば、どうすればいいのでしょうか。おそらくまず当たり前のことが普通にできるようになること。そして“すべて”自分で一通りはこなすことだと思えます。講義にしても教員が内容をすべて解説するやり方は一番楽ですが、学生に本質的な力が付くとは考えられません。学生に自分で考え、解決させることは両者に忍耐を強要します。わるく言えば地味、よく言えば堅実なやりかたを学生諸君はどう考えますか?本物志向はいつの時代にも変わらぬ普遍的なことであると考えます。



電子制御工学科20期生、21期生、22期生の皆さんへ

電子制御工学科長 柴田 博司

本学科は幅広い専門分野を学ぶ課程となっています。学ぶべきことが多くて学生諸君は苦勞していることかと思えます。しかし、幅広く学んだことは、将来どの分野に進んだとしても基礎学力として必ず皆さんの役に立つと思えます。また、ぜひ専門として興味を持って打ち込めるものをなにか見つけましょう。興味を持って取り組み続ければ、日々の学習もきっと楽しいものとなり、いずれはその分野のエキスパートとなっているでしょう。今後も勉強に励んでくれることを期待しています。

5年生及び 専攻科担任 ～進路指導雑感～

本郷キャンパス

機械工学科 担任 佐瀬直樹



リーマンショックにともなう不景気もようやく底が見えてきたように思われますが、まだ求人数を抑えている企業も多く、就職は厳しいと言われております。そのため当クラスでも36名中27名が進学を希望するという異例の事態となっております。しかしながらあらゆる分野の製造業が、機械による量産を行っているため、機械技術者の需要は比較的多いように思われます。特に人件費を抑制するために高学歴者よりも高専卒業者の評価がいつそう高まっているようです。実際に当クラス就職希望者9人に対して、370社から求人が来ています。そして9人全員が希望の企業への就職が内定しております。

高専機械科学生の進学希望者は、全国的にみても急増しているようです。したがって進学や編入学試験の倍率は例年よりも高くなり、当然合格レベルも上がっています。そんな状況ではありますが、当クラスの学生らは健闘しており、現在進学希望者27名中26名が専攻科への進学あるいは国公立大学への編入学試験に合格しております。残り1名についても10月中には進学先が確定していると思われます。

いずれの進路を選ぶにしろ早めの準備が重要であるのは間違いありません。4年生の秋ころには自分の人生、進路について具体的に考えはじめ、先生や先輩、保護者の意見などを聞きながら考えをまとめ、必要な準備をしていくのがよいでしょう。



電気工学科 担任 角俊雄

来年3月卒業生への求人は昨年の秋口から始まり、12月から今年3月にかけて企業からの訪問の多い状態が続きました。環境が厳しい中、進学して変化を待とうという動きも出ましたが就職が本音であるなら今年挑戦するよう言ったところ他学科に比べ就職希望が多く、就職・進学ほぼ同数になりました。4月から5月上旬にかけては順調に決まり、本人の希望先への意志がしっかりしている場合は高専の学校推薦はまだかなり有効だと感じました。応募先が決まらずに遅い時期の応募になった場合は厳しいものになりました。9月以降も2名が活動を続けていましたが、10月に入ってようやく希望者全員の就職先が決まりました。進学希望者に対する指導では本人の自覚に頼り過ぎ、勉強状況のチェックが不足したと思います。きちんと受験勉強をやれば本学科からはかなり高いレベルが可能のはずですが、挑戦するもかなわなかった例が目立ちました。

就職をめざすにしても進学をめざすにしても、本人の強い自覚と早くからの準備が最も重要です。

物質工学科 担任 河合孝恵



平成22年度物質工学科5年生の進路は、1/3が就職、2/3が進学という状況です。就職活動は、4年生時のインターンシップ先の選定から始めて、冬休みには本格的に開始するよう指導を行いました。その甲斐あってか、前半戦は好調な滑り出しとなりましたが、後半戦は苦戦を強いられています。就職を考えている在校生が、今から始められる対策としては、企業を詳細に調べること、SPI(総合適性検査)の対策を行うこと、正しい言葉遣いができるようにすること等が挙げられます。進学については、昨年まで合格率の高かった大学が、急に下がったケースも見られました。受験勉強では、過去問に頼るだけでなく、真の実力を身につけるべく、本当の理解を目指して努力することが大切です。

就職・進学いずれにおいても大事なことは、自己を律し、人に流されず、日々目標に向かってしっかり努力することです。我々教職員も、誠心誠意皆さんの進路のサポートを行いますが、最後は自分自身の力です。目標に向かって精一杯がんばってください。



環境材料工学科 担任 高廣政彦

平成23年3月卒業予定の環境材料工学科5年生は、就職希望が全体の1/3、専攻科を含めた進学希望が2/3となっております。就職に関しては、近年WEBテストの導入により、面接試験の段階前に門前払いされる学生が目立ちました。また、推薦書の扱いも形骸化する傾向が見られ、就職状況は昨年度より一段と厳しさを増したと考えられます。本年度当初はこのように就職内定率も極めて低く、当初就職希望であった学生が採用試験の結果不採用の通知を受け、やむなく大学編入に変更した例も見受けられましたが、9月中旬までには就職希望者に関しては全員内定を受けることができました。一方進学に関しては、高専本科生の就職難の噂が伝えられ、各大学とも入試倍率が増加し、全体として昨年度より難化した感を受けました。9月末現在、進学希望の学生1名の進路が未定の状況です。これらの傾向は今後もしばらく続くと考えられますので、就職、進学に関わらず、例年より早く受験準備を進める必要があると思います。特に就職試験では「一夜漬け」が全く効かないSPI(一般常識)、大学編入では英語および数学の基礎力を早い段階から高めておくことが重要です。



本郷キャンパス副専攻科長 西敏行

本年度の専攻科本郷キャンパス2年生は、機械・電気システム工学専攻25名、機能材料工学専攻14名の合計39名です。そのうち、就職希望者は15名、大学院進学希望者は24名です。就職希望者に対する求人企業数は、100社程度で、この中には学校推薦の企業もあれば、自由応募の企業もあります。専攻科生の場合は、学科生に比べて自由応募の企業が多くなります。一方、進学の場合は、多くの大学院から募集が来ます。そのため、進学先の選択には事欠きませんが、やはり、実力が付いていないと入学できませんし、入学できてもその後が大変です。現時点(9月末)で、就職の内定を頂いている学生は14名、大学

院に合格している学生は22名となっています。就職、進学先がまだ決定していない学生には、これからの頑張りにも期待しています。また、既に進路が決まった学生については、残りの学生生活、研究生活の一層の充実を望みます。

射水キャンパス

商船学科 担任 笹谷敬二



景気後退の影響を受けて、商船学科19期生の平成23年度就職状況は海上陸上ともに悪化しました。原因は求人のある海上職への志願者が少なかった事に加え、海技試験への取り組みが遅れたこと。また、求人の少ない陸上企業への希望者が多く、一方でそのための対策が遅れたことが原因と考えられます。

乗船実習前(5年前期)までに、32名中、海上10名、陸上10名、進学5名が内定し、海上希望者1名、公務員関係4名、陸上1名、進学1名が未定の状態です。

商船学科の場合、現業の技術要員として採用される場合が多く、その職種に必要な国家資格は必須となります。高校生より数段高い専門知識を有していると期待されており、面接で確実に学力を試されます。それに対応できない学生は内定獲得に苦戦することになります。

国内の全産業の雇用空洞化(真空化)が猛烈な勢いで進行している現状では、学生の皆さんは、資格取得と高度の専門知識の習得は必須として考えていただきたいと思います。



電子制御工学科 担任 早勢欣和

平成22年度電子制御工学科第5学年44名の進路は、現時点で活動中の数名を除いて、就職22名、進学20名の状況となっています。不況の影響はまだ続いているとは感じますが、射水キャンパスに来て求人のうち実に8割以上が電子制御工学科の学生を対象としていただけたことは、とても有難い状況であると感じました。しかし、現実には求人をいただけることは、試験を受けるチャンスをいただけることでしかありません。複数名の求人をしていただけた企業はほとんどなく、結果的にクラス内から複数名の内定をいただけたところは1社もありませんでした。クラス内で同じ企業を希望することも珍しくなく、強く情熱を持っているかなどで調整をせざるを得ないこともありました。また、より深く知識を得るために進学を決めた学生たちも編入学試験でとても苦労をしていました。

夢を明確にし、それに向けて日頃の生活・勉学などで誰からも認められるように努力し、自信を持てるようになることが大切だと思います。



情報工学科 担任 秋口俊輔

本年度の進路指導状況は一言で言えば「就職氷河期の再来」であると思います。前年度までの雇用状況は回復傾向にありましたが、近年の世界規模での景気後退により進学・就職活動は厳しい状況です。このような現状を踏まえ、進学・就職活動を

考えた場合に、「積極性」・「将来設計」・「自己分析」・「コミュニケーション能力」の必要性を改めて感じました。いくら高専が就職に強いとは言え、他者との競争である以上、受け身であったり、「今の自分の力で入れる所」などの安易な将来設計では競争には勝てません。また、自分の特性を把握し、明確に相手に伝えたり、相手の質問に簡潔に答える力は必要不可欠となります。これらは学校生活においても重要でありますが、一朝一夕に身に付くものではなく、進学・就職活動が始まってからでは到底間に合いません。学生諸君の生活は高専で閉じるものではなく、将来に続いていくものです。目の課題、試験もちろん大切ですが、今一度自分の将来を真剣に、具体的に考え、実現できるように邁進して下さい。



国際流通学科 担任 松原義弘

今年度の国際流通学科5年生の進路希望状況は、民間企業への就職希望者が全体の4割強、公務員希望者が2割、大学編入学希望者が4割弱という割合になっています。進路に向けた活動時期は、民間企業が4年生の冬から5年生の夏にかけて、公務員は1次試験が9月、2次が10月、結果が出るのが11月です。大学編入学試験は8～12月です。8月末現在、民間企業への就職については、大変厳しい状況下で健闘し、希望者全員が内定を頂いています。就職先は地元の製造業(管理部門)、金融業、サービス業が主です。

多くの進路先が調査書や履歴書の提出を求め、応募者の学業成績や資格取得状況を見ます。これらの資料や筆記試験(SPI等の教養試験)、面接(正しい言葉遣いやコミュニケーション能力)、作文(論理的な文章を書く力)等を基に採用選考が行われます。これらに対応する力は一朝一夕には身に付かないため、日頃の学習や生活態度、言葉遣いをしっかりしていくことが大切だと考えます。

1～4年生のみなさんは、できるだけ早い時期から自分の進路目標を定め、それに向けて計画的に準備を重ねていくことを勧めます。



射水キャンパス副専攻科長 篠川敏行

制御情報システム工学専攻では、本科5年生までの教育を更に充実させ、教育研究の高度化を図っています。今年度は就職希望者の全てが、5月末までに採用内定を頂いています。社会的には厳しい状況ですが、自ら考えて行動する専攻科での経験が、就職活動にも活かされていると感じます。社会的状況のためか、大学院進学希望者は昨年度と今年度ともに各1名と少なくなっています。

海事システム工学専攻では、平成22年9月修了生3名は、公的機関の職員が2名と民間船会社に就職いたしました。いずれも、希望の進路となっております。次年度の平成23年9月修了予定2名は、現在、希望の進学先、就職先に向けて準備をしています。すでに試験が始まっているものもあります。

文科系の専攻である国際ビジネス学専攻は本年度設置されたので、まだ修了生を輩出しておりません。文科系大学生の就職活動は自由公募の就職活動となりますが、学生が主体的に進路を選択できる学力・能力を身につけていきますので、就職、起業、大学院への進学など多様な進路を予想しています。

富山高専に入学して

機械システム工学科 1年 竹村 沙友理



私はこの富山高専に入学して良かったと思います。理由は2つあります。

1つ目の理由は、専門的な技術や知識を楽しみながら身に付けることができるからです。

1年生は、木曜日に「ものづくり基礎工学実験」という授業があります。この授業では、本来1年生では体験できないような難易度の高い実験を、仲間と協力しながら実践します。初めて会って話す他の学科の学生と、どのようにすれば実験が成功するのか議論しながら、成功をめざします。成功したとき、失敗したとき、それぞれの場合の理由を考えることにより、専門的な技術や知識のさらなる向上を目指せます。

2つ目の理由は、友人が増えたことです。

高専生はとても個性的な人が多いです。1人1人自分をしっかりと持っていて、話す時にとても楽しめます。

ここまでキャラが濃い人が多いことには驚きました。また、中学の友達には話せなかった分野の話も、高専でできた友達には話せます。それ以外でも共通の話題が必ずあり、誰とでも仲良く話せるようになりました。高専に入学してから、毎日がとても充実しています。勉強は難しいですが、高専でできた友達と教え合いながら、時には先生の部屋に質問しに行きながら、なんとかこなしています。私は勉強があまり好きではありませんでしたが、最近では専門の授業に興味が出て来ました。5年間ともに過ごすこの愉快的仲間たちと、楽しい高専生活を送りたいと思います。



合宿研修に参加して

電気制御システム工学科 1年 福澤 亮太



富山高専専門学校の統合して最初の1年生合宿研修が能登青少年交流の家で行われました。中学校の時にも、高山にある乗鞍青少年交流の家に行きました。今回もその時と、ほぼ同じような事をしましたが、中学校の時との大

きな違いは、先生方に頼らずに自分達で行動するという事でした。合唱コンクールの練習やスケジュール管理等も全て自分達で行いました。このような事はこれからもっと重要になってきます。僕は、普段から学生として自ら行動する力を養っていきたくて思いました。

球技大会を終えて

物質化学工学科 1年 高田 修平



今回の球技大会では、5種目の競技とリレーを含めた合計6種目で争われました。どの競技もクラスのメンバーが協力して大会に臨んでいました。1年生から専攻科2年生までという幅広い学年が参加していて、このような点が高専らしいなと改めて思いました。

実際にバスケットボールの試合を先輩方とやってみると、先輩方は手加減抜きで相手をしてくれたので、とても試合に熱中することができました。到底先輩方に敵うはずもなく、得点差を大幅に広げられ惨敗してしまいました。しかし、勝ち負け以上に、先輩方や他学科と皆さんと交流することができ、とても良い思い出になりました。



富山高専に入学して

商船学科 1年 荒城 直也



僕は、この富山高専専門学校への入学が決まったときから、入学式をととても楽しみにしていました。そして、実際に入学できたことを実感したのも、入学式です。

入学式当日、新しい制服を身にまとい、会場のオーバードホールに着くと、既にたくさんの自分と同じ新入生が席に着いていました。その光景に、

改めて、自分が本当に入学したのだ、入学できたのだと思いました。自分も席に着き、式が始まると、新入生代表のあいさつや、校長先生のお話、校歌等を聞き、自分の新しい生活をどのようなものにしようかと考えていました。校長先生より、入学を許可され、新生富山高専第1期生となった今、これからの5年間を、精一杯、有意義に、自分の「夢」を叶えるために頑張っていきたいと思いました。

合宿研修に参加して

電子情報工学科 1年 林 裕也



今回の合宿研修は、新富山高専となり元々違う高専であった2つのキャンパスが初めて合同で行うものでした。そのため、行き先や人数に合わせて計画を練り直したり、それぞれのキャンパスで役割を分担して意見をまとめるためにテレビ会議を行ったり、やらなければならない事がとても多くありました。実行委員長になった時は、ほとんど知らないメンバーをまとめ、それだけの仕事をす

るのはどれほど大変なのだろう、と不安になったりもしました。しかし、実行委員のメンバーはしっかりと仕事をこなしていく人が多く、私が皆をまとめる必要はほとんどなかったため、考えていたよりずっと苦労は少なかったです。また、最初は見知らぬ人であったメンバーとも打ち解ける事ができ、授業も全く一緒でない他学科の友人もできました。私にとってこの合宿研修は準備段階の1ヵ月半も含めて、とても有意義なものだったと思います。

球技大会に参加して

国際ビジネス学科 1年 筏井 絵梨



私たち1年生にとって今回の球技大会は高専に入学して初めての球技大会でした。私はドッジボールに参加しました。やはり先輩方は強く、試合をする前から気迫で負けていたが、いざ試合になると5年生に負けにくいぐらいの白熱した良い戦いができました。私は逃げることはできませんでしたが、K1女子はみんな一人一人がMVP並の活躍をしていました。結果は完敗（最下位）で、K1女子はみんな悔しがっていましたが、私は十分楽しめたので満足でした！でも、次はせめて一勝したいです。午後からは他の競技の応援をしたり、大縄に参加したりして過ごしました。大縄でも十数回しか跳べずまた最下位でした。他の競技ではK1男子、S1、I1の人たちが先輩方と互角に戦ってるのを見てとても驚かされました。また、私が一番驚いたのは一つ一つの行事を学生が企画していることです。競技場所や時間の振り分けや何もかも学生が企画していました。改め



て高専生は自分の力で何とかしなければならないのだと感じました。今回は負けてばかりの球技大会でしたが、私にとっては貴重な球技大会になりました。この頃は入学してから1ヶ月あまりしかたっていないのでクラスの輪も広がり良い思い出にもなりました。次回の球技大会が待ちどおしいです。



本郷キャンパス
1学年主任
立野 彰

部分の中に幸せを

期末試験も終わり、何とか高専生活というものが実感できたこの頃でしょうか。15歳から20歳という人生で最も多感な大切な時期の10分の1を、人によっては随分と感覚は違うと思いますが、この富山高専で過ごしたわけです。どうか、この最初の半年の経験を踏まえて、これからの高専生活の礎を固めてください。私の読んだある幸福論の中に、「部分の中に幸せがなければ、全体の中にも幸せはない。」という言葉があったように覚えています。「終わりよければ全て良し。」という言葉もありますが、人生はそのようにはできていないようです。毎日、毎日を大切に、幸せをひとつずつ、積み重ねていってください。



機械システム工学科
担任 瀬戸 薫

自律の意味を考えよう

つい先日、「ものづくり基礎工学実験」全員合格！の連絡を戴きました。これで後期も全員の顔が揃う、と一安心したところです。皆さんの学年から、「9月に留年が確定するカリキュラム」になっていることに、私が気づいたのは5月に入ってからです。以来、毎日警鐘を発してきましたが、土壇場まで冷や汗のかき通しでした。提出物の締切日を、自分の都合に合わせて勝手に変更することを、「自律」とは言いません。学校生活では、失敗を恐れたり、恥じたりする必要はありませんが、時間を守り、人の話を聞く姿勢だけは、今年中に身に付けたいものです。皆さんの明朗快活さが、一層輝きを増すように、ケジメとメリハリのある生活を期待します。



電気制御システム工学科
担任 長谷川 貴之

十分の一

皆さんは半年前に富山高等専門学校に入学し、新しい環境の下で、技術者になるための学習を始めました。富山高専で過ごす五年間の時間の内の、約十分の一が経過しました。この半年間は「まだ十分の一」と捉えることもできますし、「もう十分の一」と捉えることもできます。同じ客観的・物理的時間間隔でも、主観的・心理的には異なった捉え方ができます。こういった見方を時間的展望 (time perspective) と言います。「ある一定の時点における個人の心理学的過去および未来についての見解の総体」というものが、K. Lewin (1951, 1979) による行動科学的な定義です。そして、現在の行動は、過去や未来の時間的展望によって影響を受けます。高専への合格という過去を振り返り、そして未来への期待を支えに、現在の学習に満足のゆくまで集中してください。



物質化学工学科
担任 中村 登

大きな夢と高い志を持ち自己研鑽を

この半年間、皆さんは入学時の初心を忘れることなく、大きな夢と高い志を胸に充実した日々を送りながら自己を高めてこられたことと確信いたします。これからの時代を生きていく皆さん（もちろん私自身も含めて）は、生涯、何らかの形で多くのことを学び続けることとなります。学ぶスタイルには人それぞれに違い（じっくり一人で考えるスタイルや相手と話し合いながら考えるスタイルなど）があり、考えるときに使う道具も様々でしょう。情報の海の中で知りたい情報を的確に獲得し学んでいくことは大切ではありますが、その海から一歩陸へ出て自らの足取りで学問の山を登り詰めることも大切です。その過程で誰も考えていないことを考え出せたのであればそれこそ大成功ですし、もし自分が考えたことを既に他の人が同じように考えていたとしても、自分の頭で考え抜き一つの結論にたどり着く過程を経験することには大きな意義と価値があります。私は、皆さんには将来、自分自身の頭で物事をよく考え新しいものを作り出していける人になって欲しいと思います。そのための基礎を高専での5年間の生活の中でしっかりと築き上げて欲しいと思っています。



射水キャンパス
1学年主任
岡部 寛子

複数の視点を獲得しよう

中学校との違いに戸惑い気味に始まった高専生活。合同宿泊学習という大きな行事を成功させ、二度の試験を終えた学生の姿に、少しの自信と成長を見て、頼もしく感じておられる保護者の方も多いと思います。射水では11月開催の北斗祭に向けて学年展示の計画も進んでいます。一期生は「富山高専」の新たな歴史を作っていく学年です。その誇りをもって何事にも積極的に関わってほしいと思っています。さて高専の5年間は、少年が青年へと心も体も大きく成長していく時間です。人生の中でもそれは特筆すべき季節ではないでしょうか。この時をいかに充実させて生きていくか。それがその後の人生を豊かなものにしてくれます。高専の5年間は「自らの人生をいかに生きるか」ということを考える時期でもあります。そのために「複数の視点」を持って自分を見つめ、社会と今を、そして未来を見つめてください。5年間、多くの人に出会い、多くの書物を読み、自らの中に物事を多角的に見つめる力をつけてほしいと思います。大学入試という煩雑な仕事がない分、高専生には豊かな時間が保証されています。目先のことだけに囚われず、多くの視野を獲得して人生設計をしてほしいと思います。



電子情報工学科
担任 山口 晃史

5年後、10年後を見据えて行動を

先日、保護者会を期に本科電子情報工学科1年の学生に卒業後の進路（進学・就職）についてアンケート調査を行ったところ、41名（全体44名の93%）から回答を得ました。結果は就職希望者12名（27%）、進学希望者25名（57%）、不明4名（9%）でした。クラスの半数以上の学生が、本校で基礎技術を身に付けた後、さらにレベルの高い技術を学び、技術者あるいは研究者になりたいと希望することがわかりました。しかし一方では、将来就いてみたい職業について、希望を答えた学生は16名（36%）でした。多くの学生はこれから様々な技術を学びたいとしながらも、その技術を生かした仕事については、「まだわからない」、「今後調べたい」と述べておりました。「1年生だから将来について考えるのはまだ早い」なんてことはありません。将来自分が理想とする大人を目指し、そして、幸せな人生を歩むために、皆さんに与えられたこの5年間に有効に使ってほしいと願います。



国際ビジネス学科
担任 海老原 毅

国際ビジネス学科第1期生から感じるもの

国際ビジネス学科1期生として47名が入学しました。それぞれ多彩な長所や特長を持つ学生たちは、新しい友人との関係を少しずつ築きながら、自分に合った生活リズムを探っている様子が見られます。また、新入生合宿研修での合唱コンクールに向けて練習を重ね、「国際」らしく英語も含めた合唱に仕上げても最優秀賞を受賞できたことを通し、クラスの一体感も現れ始めています。私が各学生から感じるのは、自分の思いや考えを表現しようとする気持ちです。表現方法は様々ではなく、性格などに合わせてバラエティーがありますが、一人一人が何かを表現しようと試みています。この多様性はクラス内の交流に刺激を与える源であり、ひいては国際社会における多様な複雑な状況を理解する力の基礎となります。グローバル化が進む社会において活躍することをめざし、積極的に勇気を持ってさまざまな活動に取り組むよう、47名を励ましていきたいと思っています。



商船学科
担任 保前 友高

初志を忘れず進め

早いもので、入学から半年が経過しました。当初は、初々しくも緊張したクラスの雰囲気でした。しかし、優勝を目指して取り組んだ合宿研修のクラス対抗合唱コンクール準備（残念ながら結果は伴いませんでしたが）、若潮丸での1泊の乗船実習、毎週1回の Каттер練習等を経て、次第にうち解け、クラスに一体感が出てきました。また、日々の授業、中間試験を通して、高専における学習方法も少しずつ身に付いてきたのではないのでしょうか。今、改めて、クラスを見渡すと、ひとまわり大きくなった姿、日焼けした顔、積極的な発言等が印象的です。入学当初と比較し、心身共に成長して、格段にたくましくなっており、勢いを感じます。学生諸君は、初心を忘れず、この勢いで個々の目標に向かって進んで欲しいと思います。

1年生 ものづくり 基礎工学実験 授業紹介

機械システム工学科

「エコレーシングカーを用いたエネルギー教育」
内容：限られたエネルギーをもったエコレーシングカーの走行状態を変化させ、エネルギーの有効利用と機械のシステム構成例を学ぶ。

「段ボールを用いた衝撃吸収実験」

内容：科学実験で用いられている“卵を守れ”を機械工学的に展開させた実験を行う。卵の代わりに衝撃センサーの製作と段ボール用いた衝撃吸収装置を製作し、実験することにより、物体の速度、機械の強度等を学ぶ。



ものづくり基礎工学実験とは、1) 所属する専門学科を含めて他学科の基礎教育について学ぶこと、2) 他の学科の学生との交流を目的として富山高専の本郷・射水量キャンパスの計6学科約160名を4つの班となるように再編成し、専門6学科の基礎教育を受けるといもので本年度から始まりました。ここでは各専門6学科の実験テーマと内容を紹介します。

電気制御システム工学科

「LEGOを用いたロボットプログラミング実習」
内容：グラフィカルプログラミング言語ROBOLABを用いてペットボトル落としロボットを作り競技会を行う。これにより、グラフィカルなプログラミング言語を用いて、プログラムの概念、センサーを用いた制御の原理、歯車

などの機械要素の基礎を身に付ける。



「電気基礎実験」

内容：オームの法則や分圧・分流、ブリッジ回路など電気の基礎を学ぶ。

「電気制御基礎実験」

内容：モーターの制御の基礎などを学ぶ。

物質化学工学科

「生活の中の酸・塩基とpH（無機系）」

内容：はじめに酸・塩基とpHに関する講義を行った後、塩酸、水酸化ナトリウム等の代表的な試薬と、生活の中で使う身の周りの物のpHをpH指示薬およびpHメーターで測定する。

「酵母によるアルコール発酵（化学、生物系）」

内容：酵母と私たちの生活について学び、その例としてアルコール発酵を実際に体験する。その中で顕微鏡による酵母の観察も行う。また、ワークショップによる掘り下げ学習、まとめなどを行う。また、化学の導入としてあき時間で簡単な化学反応を体験する。



電子情報工学科

「電子計測とコンピュータへの信号取り込み」
内容：コンデンサーの並列・直列接続による電荷蓄積状況を、LEDの発光時間から推察する。

「レゴブロックを用いたコンピュータプログラムの基礎」

内容：レゴブロックにプログラミングを行うことにより、レゴブロック車の動的な制御を学ぶ。これらを応用して、ライトレーサーに至るまでのプログラム制御を行い、ゴールまでの時間競技を行う。



国際ビジネス学科

「技術者と企業」

内容：多くの技術者は企業で働くことになり、技術開発の多くも企業によって担われている。そこで企業内で行われている管理・運営や戦略立案について講義を行う。

本講義では、企業内の管理・運営を理解するだけでなく、企業内における自分自身のキャリア形成や学生時代のキャリア形成について考え始めることも目的としている。



商船学科

「商船（海と船）に関わる内容」

内容：広域にわたる海事分野について、極力平易かつ、興味深い内容とする。具体的にはまず若潮丸船内見学を行い、その後海運の重要性（生活を支え、産業を支える船）、環境に優しい船、世界最大の高度な移動体、船員が担う船の安全と重責などについて講義を行う。



新任教職員紹介



●●本郷キャンパス●●

機械システム工学科 中江貴志



九州大学で学位取得後、この富山高専に着任いたしました。高専教育に対する率直な感想は大学に比べ指導がとても丁寧であり、学業を行う環境として最高であると感じる反面、教員からの指示を仰ぐ、学生の受身の姿勢がやや気になりました。

一方、大学生は、すべて自己管理の下、能動的に活動せざるを得ません。さらに現代の情報機関の発達に伴い、大学生は多方面から情報を奪い取ってくる貪欲さと、昨今の不況に対応するべく、自分に合った正しい情報を見抜く力を強いられております。

これら自己管理能力や能動的姿勢は進路を問わず必要であると信じております。少ない経験ではありますが、私の実体験を通して学生にタイムリーな情報を伝えたいと考えております。

電気制御システム工学科 多田和広



昨年度までは大阪府立大学大学院工学研究科の博士後期課程に在籍し、本年度より電気制御システム工学科の助教に着任しました。現在は、ナノレオロジーやナノトライボロジーなどと密接に関係するナノプロセス現象を分子動力学法を用いて解析したり、電子線照射下におけるナノ材料の構造変形を解析するための分子シミュレーションの開発を行っています。将来的には、これらのシミュレーションを発展させ、材料の加工や改質を計算機上で実現するバーチャルファクトリーの構築を目指しております。今後、研究と教育の両面において富山高専の発展に貢献できるよう邁進する所存です。何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

物質化学工学科 尾山由紀子



これまでの大学勤務を経てこちらに参りました。高専の出身者は友人や大学の後輩にはいましたし、大学で教わった教員の中にも高専出身者は何人かいました。しかしながらその実態はこちらに赴任して初めて分かることばかりで、新鮮な驚きばかりの毎日です。

大学では卒業研究に配属される大学4年生以上の学生が相手で、3年生の学生実験、輪講などを担当はしていましたが、これまでよりも若い年代とのかかわりになり、大き

な戸惑いが当初ありました。しかし、得意なこと、興味のあることに素直に向き合おうとする学生の意欲を日々垣間見てこちらもしっかりと教育に向き合っていこうと思うようになりました。

現在1年生の物質化学工学科の副担任を仰せつかっております。私も高専1年生ですので、学生と共に学び、学生に負けないように成長できたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

一般教養科 小熊 猛



高専間教員交流制度で石川高専から富山高専（本郷キャンパス）に着任しました小熊です。英語および日本語を主たる対象言語として、認知言語学という言語理論の枠組みで研究を行っています。授業においては、タイプの異なる日英両言語の言語化パターン（文法）の対照研究から得られる知見を活かし、英語学習者のつまずきやすい文法を明快に説明することを目指しています。本年度は、2年および3年の総合英語、4年の英語演習。という科目を担当しています。英語という言葉についての質問・疑問など大歓迎です。授業中には充分には理解できなかった内容など、是非ともオフィスアワー等を積極的に活用して質問して下さい。

教育技術センター 吉川文恵



4月1日付で着任しました教育技術センターの吉川文恵です。大学院を修了してから企業や大学で気体中に浮遊する粒子—エアロゾルに関する研究を行っていました。研究では、「技術の発展」による恩恵を受けることができるプラスの部分と、発展に伴うマイナスの部分を考えるようにしています。これは、技術者、研究者にとって大事なことだと思っています。学生のみなさんが、技術者として希望を持って富山高等専門学校での学生生活を充実して過ごせるよう、企業や大学での経験を生かしサポートしたいと思っています。

日々、「教学半（教うるは学ぶの半ばなり）」を実感しております。皆さんとともに自分自身も成長していけるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

●●射水キャンパス●●

電子情報工学科 的場隆一



本年5月、電子情報工学科に着任いたしました。私は石川高専電子情報工学科を卒業し、同高専専攻科電子機械工学専攻修了後に北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科で学位を取り、前職は同大学院にて研究員として勤務しておりました。

現在、本校の学生と日々触れ合う中で、大学院時代に日々課せられたプレッシャーや忙しさのため忘れてしまっていた

高専時代の楽しかった思い出が頭を通り懐かしい気持ちになることが多々あります。友達付き合い・部活・バイト・恋愛はもとよりテストやレポートに翻弄されたことさえ今でもとても良い思い出です。

学生のみなさん、射水キャンパスで過ごす15歳からの5年間はまさに青春真っ盛りの多感な時期であり、一度しかない大切なときです。どうか、悔いを残さない学生生活をEnjoyしてください。みなさんが笑顔でかけがえのない高専生活を送ることができるよう、微力ながら支えていければと思っております。どうかよろしくお願い致します。

国際ビジネス学科 深見 環



本年4月より国際ビジネス学科へ着任しました深見と申します。こちらに着任します前は大阪の大学で教鞭をとっておりました。専攻は経営学で、国際ビジネスにも重点を置き研究を行ってまいりました。また私自身、大学を卒業しましてから名古屋の百貨店で10年ほど働き、いわゆる社会人大学院生でもありました。百貨店では通常業務のほか、インターンシップ学生などの研修を受け入れた際に、直接指導にもあたらせていただきました。

インターンシップの指導を通じて感じたことは、学生の社会で活躍したい、そのための知識を得たいという気持ちの強さでした。実際の経営の場で重要なのは、机上の理論だけでなく、自らがどのように考え行動するかということです。このため私は、社会でも通用する実践的、創造的なビジネスパーソンを育成できるよう、授業を通じ力を尽くしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

商船学科 三輪 誠



商船学科に着任しました、三輪 誠と申します。私は本校の機関科を平成4年9月に卒業しました。このたび教員として17年ぶりに本校の門をくぐり、スーパー高専としての富山高専に日々新たな気持ちで勤めております。

商船学科では主に内燃機関工学の授業を担当しています。昨年度まで（独）航海訓練所に機関科教員として勤めておりましたので、授業では船用機関に関する実務経験を基に機関に関する基礎を話しております。船の現場とは違って、教室の授業は実物が見えず、機械の動作イメージをいかに分かりやすく説明できるか、毎回の課題です。学生たちが将来、機関の仕事に興味を持って接し、ひとつの作業を終えたときに「最高の喜びと達成感」が得られるよう、努力したいと思っています。教員1年生の若輩者です、どうぞよろしくお願い致します。

商船学科 経田僚昭



4月より、商船学科に着任した経田と申します。2005年に本校を卒業し、大学、大学院へと進み、縁あって本校で社会人1年目を迎えることとなりました。

久しぶりの母校は大きく様変わりしている部分とまったく変わっていない部分どち

りも数多くあり、新鮮な想いで毎日を過ごしております。

私自身、この学校では球技大会や北斗祭、カッターレース大会など学生会が企画・運営する行事をはじめ、若潮丸実習やサバイバル実習、一年間の乗船実習といった商船学科特有の実習など、5年半の学生生活で多くの貴重な経験をすることができました。これら経験全てが今の自分にとって非常に重要なかけがえのない経験だったと思っています。

本校では、私以上にこれら経験を貴重なものにし、一日一日成長していく学生を、教員という立場から見守りつつ、私自身も学生とともに、更に成長していきたいと思っております。どうか宜しく御願致します。

練習船若潮丸 田近茂樹



私は、昭和48年に前身の国立富山商船高等専門学校（航海科）を卒業し33年間カーフェリーの航海士、船長とし海上勤務し、その後1年8ヶ月新潟造船（株）に勤め、平成20年4月1日に縁あって臨海実習場技術職員に採用され本年4月1日付けで練習船若潮丸の船長に就任しました。就任にあたり現役から4年余り遠ざかっていた為一抹の不安がありましたが、皆様の暖かいご支援によりこの4ヶ月間無事に運航することが出来ました。

学生の皆さんには、若潮丸の運行を通して30数年間に渡って得た海上経験あるいは海の怖さや魅力を伝え今後の実社会に少しでも役立てて貰えれば幸いです。又生徒と教師関係としてではなく親子のつもりで接し、一緒になって勉強していきたいと思っています。

最後に、若潮丸の安全運行にあたり皆様方の一層のご協力をご支援をお願い致します。



一般教養科 櫻井秀人



本年10月1日より一般教養科（射水キャンパス）の講師として着任致しました櫻井秀人と申します。数学を担当しております。今回着任したばかりで富山高専の学生と直接触れ合った経験はまだ浅いのですが、授業などを通して伝わってくる学生達の印象

は「非常にまじめである」と好印象です。これは、富山高専の学生がもともと持つ資質が多く要因因ですが、それと共に先任の先生方の教育の成果であるという点も忘れてはならないと感じております。私はこれまで大学において教育・研究に従事してきたのですが、高等専門学校における教育・研究は今回が初めてであります。ですから実際に高専における教育・研究に対して不慣れな点があるかとは思いますが、先任の先生方のお力になれるよう学生の教育に勤しみ、またそして国立富山高専の今後の発展に貢献できるよう微力ではありますが誠心誠意尽力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

商船学科卒業式

Graduation Ceremony 2010.9.15



卒業証書・修了証書授与式

平成22年9月15日(水)、富山高等専門学校 卒業証書・修了証書授与式が射水キャンパス第二体育館において挙行された。卒業・修了したのは商船学科の卒業生34名および専攻科海事システム工学専攻の修了生3名で、1年間の航海実習があることから他の学科よりも半年遅れての式になる。式では、米田政明校長が一人ひとりに卒業証書・修了証書を手渡した。校長の式辞は、商船学科の卒業式に



似つかわしく、「BONVOYAGE」(フランス語で「よい航海を」の意)という言葉でしめくられた。さらに来賓の祝辞、祝電の披露が続いた後、在校生代表 土池遥奈さん(国際流通学科4年)が坂本龍馬の言葉を引用しながら、「力強く前向きで充実した生活を送ってってください」と送辞を述べたのに対し、卒業生・修了生代表の姫野翔太さんは「学校での貴重な経験を活かし、自分たちの人生航路を切り開いていきます」と力強く答辞を読み上げて、送辞に答えた。

最後は出航の際の「登檣礼」にならい、白い制服の卒業生たちが「ごきげんよう」の挨拶とともに帽子を投げて、学び舎に別れを告げた。



商船学科18期生の新しい船出に乾杯!!

18期生の皆さん卒業おめでとうございます。振り返れば、2005年3月末にインドネシアでスマトラ島沖地震(M8.7)が発生し、1000人以上の人が亡くなり、さらに4月には小泉純一郎首相の靖国神社参拝問題で反日感情が高まり中国の北京で大規模な反日デモが行われて日本大使館が襲撃され社会問題になっていました。

君達はそのような時に富山商船高専商船学科の18期生として入学し、海や船に関する勉強に取り組んできたわけです。そして4年半の席上課程を終え、航海訓練所等での1年間の乗船実習に行っている間に、本校は富山工業高専と統合し、富山高等専門学校という新しいスーパー高専に生まれ変わりました。その結果、君達の身分は乗船実習中に、富山高専商

商船学科 河合雅司

船学科(1期生?)に変更されました。私には、君達が富山高専商船学科の何期生になるのかよく分かりません。

いずれにしても、君達は本校のあり方が大きく変化し、それに呼応するように担任もころころと代わり、君達の担任の2名は既に本校にはいない、その様なまさに変化の中で学び、そして、社会へと船出していくのです。世界の状況を見ても、今また尖閣諸島の問題で中国で反日デモが行われそう、必ずしも明るい状況ではありませんが、こんな時代だからこそ夢を持って努力し社会に貢献できる人になって下さい。

最後に、4人目の担任の私から新しい社会に船出する君達へ一言、「歩み出せ、夢に向かって一歩ずつ！」

1年間の実習を通して

乗船当初は長い1年になるだろうと想像していた航海実習も、今思うと本当にあっという間でした。最初の半年間行われた帆船日本丸での実習は、今まで会ったこともなかった他の商船高専の学生たちと一緒に実習と生活を共にしました。冬の太平洋の大時化、極寒の中の航海当直等、辛いこともたくさんありましたが、多くの仲間と励ましあいながら乗り越えることができました。これも今は本当に良い思い出の一つです。風の力で太平洋を渡り、ハワイまで辿り着くことができた時の感動は忘れることはないと思います。残りの半年間は、会社の船に乗って実習を行いました。練習船とはまた違う雰囲気の中での実習は、こ

商船学科航海コース 白石真純

れから社会にでて働くという意識、そして実践力のある航海士にならなければならないと強く感じました。社船実習を選択したことも、自分にとって本当に良かったです。半年間の帆船での実習、残り半年間の社船実習、どれも本当に良い経験となり、そして何にも代えがたい思い出となりました。商船での仲間、訓練所での仲間は一生大切にしていきたいと思っています。

航海訓練所の乗組員の方々、社船実習関係者の方々、乗組員の方々、そして本校の先生方、職員の皆様、本当にありがとうございました。これからは社会の荒波に立ち向かっていきます。

海事システム専攻4期生の将来に期待しています 海事システム工学専攻科 山本桂一郎

専攻科海事システム工学専攻修了生の皆さん。修了おめでとうございます。無事、大学評価・学位授与機構の審査に合格し所定の単位を収められました。8月末に結果が出るまでは、皆さんも不安だったと思いますが、専攻科での努力が報われた結果となりました。担任としても大変うれしく思っております。また、かかわっていただいた教職員の皆様のおかげと感謝しております。さて、修了生の皆さんは、10月1日よりそれぞれの仕事に就きます。そこでは、しっかりと業務を身につけてください。いろいろなことはあると思いますが、

前向きに自分に負けずに日々を過ごしてください。専攻科は、カリキュラムの密度が高く内容が盛りだくさんで大変だったと思いますが、その分しっかりと力がついています。また、本科から継続して学校行事や部活動にも参加できて楽しかったと思います。

もし、自分ではどうにもならなくなったら、学校生活を思い出し励みとしてください。それから、学校へは遠慮せず遊びに来てください。皆さんの将来に期待しています。

7年半をふりかえって

本科や専攻科に入学しようと考えている人の中には、「勉強が難しい」と言われて二の足を踏んでいる人もいるのではないのでしょうか。また、後輩たちの中には「何をやっているのか」分からないという人がいるかもしれません。たしかに私自身も当初は不安でした。しかし、専攻科を修了した今ふりかえてみると、やっていくうちに好きになっていき、自ら進んで取り組めるようになっていくということが分かります。高専は、実験や実習など手や体を動かす機会が多く、自分が主体となって技術を身につけられるところが長所です。また、学業だけでなく、部活動も充実しています。さらに、北斗祭や球技大会などの学校行事の運営も学生が主体となっており、面白かったです。

商船学科ならではの乗船実習は、たしかに不安でした。「3か月乗りっぱなしで、寮生でもない私がなじめるのか」と。しかし、他の商船生とも仲良くできたし、商船ならではの体験もできて、非常に充実していました。特にピストン抜きでは10数人が協力し、事前打合せのシミュレーションどお

海事システム工学専攻科2年 市川伸彦

りにうまく行ったことは、一番の思い出となりました。専攻科では、ほとんど研究づけの毎日でした。困った時には先生に相談しますが、基本的に全てを自分でやるというところが本科と違いました。ですが、初めての学会発表で、社会人や立派な先生方前で発表することができたことは、非常に貴重な経験になりました。本科にしても、専攻科にしても、就職率が高く、また実験・実習、機械好きにはもってこいのところなので、進路に悩んでいる中学生や本科生には、ぜひ後に続いてほしいです。

最後になりましたが、7年半を通じて、ほとんど全ての先生方にお世話になりました。専攻科では、他学科の先生方からもいろいろな考え方を吸収させていただき、ありがたかったです。もちろん、商船学科の先生方や担任の先生に対しては、ただただ「感謝」の一言あるのみです。7年半、本当にありがとうございました。



商船学科・海事システム工学専攻生表彰者

【学業優秀賞】	【学会等によるもの】	【皆勤賞】	【特別賞】
航海コース 三好 繁樹	・全日本船舶職員協会賞	航海コース 越田 亘	航海コース 岡島 拓哉
機関コース 山森 大幹	・海技教育財団 会長賞	機関コース 山田 健太	機関コース 杉江 実宝
海事システム工学専攻 市川 伸彦	・日本航海学会 奨学褒賞	航海コース 荻野 愛未	航海コース 安江 陽一
	・日本船舶海洋工学会 奨学褒賞	機関コース 千葉 優太	機関コース 川村 真輝
	・日本機械学会 富山賞	航海コース 岡島 拓哉	機関コース 北川 春樹
	・日本マリンエンジニアリング学会 山下賞	航海コース 杉江 実宝	機関コース 市川 伸彦
	・品質工学会 学生賞	航海コース 安江 陽一	
		航海コース 荻野 愛未	
		機関コース 千葉 優太	
		航海コース 杉江 実宝	
		機関コース 安江 陽一	
		航海コース 川村 真輝	
		機関コース 北川 春樹	
		航海コース 市川 伸彦	
		機関コース 市川 伸彦	
		航海コース 岡島 拓哉	

図書館情報センターからのお知らせ

図書館案内

本郷、射水の2つの図書館が利用できます。

本郷、射水の学生は相互に両キャンパスの図書館が利用（図書などを借りること）できます。利用の際は、学生は学生証を、一般の利用者は利用カード（本郷、射水共通）をカウンターに提示するだけです。また学生・教職員は所属キャンパスの図書館で他キャンパスの図書を借りることもできます。

現在、図書館ではブックハンティングを行っています。

●ブックハンティングとは？●

「学生自身」が「図書館に入れたい本」を「書店で手にとって直に選ぶ」という本の選び方です。本郷では昨年度から射水では5年前からそれぞれ実施しており、学生にも好評のイベントです。

射水図書館では9月8日に北斗祭実行委員・文化委員のメンバーによって行われ（文苑堂書店福田本店に於いて）ました。なお購入した図書は北斗祭において展示します。是非ご覧下さい。

本郷図書館では10月20日に学生会主体で行いました（明文堂書店富山新庄経堂店に於いて）。

本郷図書館

・平成22年度上半期ベストリーダー（多く借りられた図書・多く借りたクラスなど）を発表しました。現在、図書館ロビーに掲示中です。

・KOSEN Cafe がリニューアルしました。床の色を刷新し明るい雰囲気になりました。

・今年度は学生用図書として英語の多読本600冊程度購入する予定です。

・工学系専門図書・雑誌を備えており、専門的に勉強したい卒業生、ご父兄、一般市民の方々のご来館をお待ちしております。



開館時間 月曜日～金曜日 8:30から21:00まで
土曜日 10:00から15:00まで
試験期間中の土曜日 10:00から17:00まで
休業期間 8:30から17:00まで

休館日 日曜日・国民の祝日、
休業期間中の土曜日、および年末年始

問合せ先 総務課 図書（本郷）担当
電話：076-493-5407
FAX：076-493-5407

射水図書館

・海事・船舶キャリア関係図書を有効利用できるような「キャリアデザイン文庫」があります。

・学生の学習支援として、また、航海実習や海外インターンシップ、長期留学、異文化体験で諸外国を訪問する機会が多い本校学生のために、難易度を段階的に変化した多読用英文図書が約600冊あり、今後も充実させていく予定です。

・「就職支援ライブラリー」としていろいろな職業を紹介したガイドブックや、就職活動に役立つ図書が約400冊あり、よく利用されています。

・気軽に読める最近のベストセラーや、部活動に関するスポーツ系の雑誌もあり、一般市民の方にも貸出できます。

どうぞお気軽に、ご利用下さい。皆さんをお待ちしております。

開館時間 月曜日～金曜日 9:00から19:00まで
土曜日 13:00から17:00まで
試験期間中の土曜日 13:00から17:00まで
休業期間 9:00から17:00まで

休館日 日曜日・国民の祝日、
休業期間中の土曜日、および年末年始

問合せ先 総務課 図書（射水）担当
電話：0766-86-5138
FAX：0766-86-5139

詳しくは、ホームページをご覧ください。

本郷図書館HP：<http://www.toyama-nct.ac.jp/lib/> 射水図書館HP：<http://www.toyama-cmt.ac.jp/facility/library/>

情報センター案内



情報センターは、情報処理教育、語学教育、卒業研究、教員研究及び校内の情報ネットワークに関する利用を目的に設置されています。

射水キャンパスには第1、第2プログラミング演習室が、本郷キャンパスには第1、第2、第3演習室、マルチメディア演習室があります。

全ての学生は授業だけでなく、昼休みや放課後に演習室を利用することが出来る他、キャンパス内の、どの端末からも各自の設定・環境でログインすることができます。

また、全学生・教職員が使用するメールアドレスや、情報端末の利用アカウントを情報センターが発行・管理し、校内ネットワークの他、インターネットへの接続サービスを提供しています。

本郷キャンパス・情報センター

第1演習室・第2演習室

図書館2階にあり、Windows Vista コンピュータが各48台あります。Windows 上の仮想マシンでLinuxを使用することができます。

情報・CAD・プログラミング・英語等の授業に使用されています。

第5演習室は19:00まで開放しています。

マルチメディア演習室

一般教養科棟2階にあり、Windows Vista コンピュータが46台あります。

Callシステムを導入しており、主に英語教育に使用されています。

第3演習室

平成22年10月、自習用の演習室としてオープンしました。

Windows Vista コンピュータが13台あり、学生はいつでも自主学習のために使用することができます。



射水キャンパス・情報センター

第1プログラミング演習室

第2専門棟4階にありWindows XPコンピュータが50台あります。C言語やJava等のプログラミングの演習だけではなく、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、メール、WWW、ホームページ作成等に活用されています。また、無線LANも設置、使用されています。

第2プログラミング演習室

情報センター内にありWindows Vistaコンピュータが50台あります。情報処理関係の授業の他、英語演習、工学演習にも使用されています。

ネットワーク利用の授業支援システムも設置され、授業に活用されています。

ランゲージラボ

（オープン予定）平成23年度4月に語学教育を主眼とするランゲージラボがオープンする予定です！

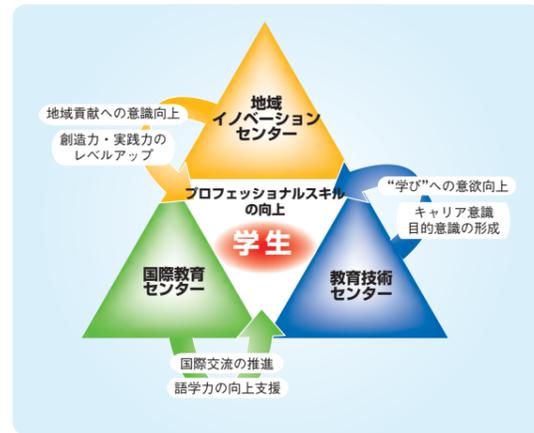


各センターからのお知らせ

地域人材開発本部

昨年10月の新生富山高専の誕生とともに地域人材開発本部が設置されました。地域に根ざした産学官の連携による共同研究の促進、創造性・国際性豊かで実践力のある人材の育成の支援を目的としています。また、教育・研究を通じて地域・社会への貢献も目指しています。

この地域人材開発本部は、3つのセンターから成り立っています。地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際センターの3センターが連携し、学科・教科の枠を超えた横断的な取り組みの支援を行っています。また、「東海北陸地区の知の拠点」となるために、学校の枠をも超えた東海北陸8高専の連携を目指した取り組みを推進しています。



地域イノベーションセンター

本校では、実践的かつ専門的な知識および技術を有する創造的な人材を育成するとともに本校教職員が保有する知的財産を積極的に社会に還元することを旨とし、産業界や自治体と連携した教育研究活動を行ってきました。

地域イノベーションセンターは、富山県という「地域」の産業の特性や県の産業施策とマッチさせながら、産業界や自治体と連携した教育研究活動

を推進するために設置されました。円滑な産学官連携活動を推進するため、産学官連携コーディネータをはじめとした専門スタッフを配置し、教育研究活動を総合的にコーディネートする体制を整えています。

これらの活動のプロセスとその成果は全て学生の教育に還元され、実践的かつ創造的な技術者を育成するために活かされます。例えば、共同研究

に参加する専攻科等の学生は、その研究の生産現場における位置づけや意味を理解し、企業の厳しいコスト意識や企業が経済・環境・社会等の幅広い分野に果たす社会的責任を通して、技術者として働くことについて学ぶことができます。



地域イノベーションセンター（富山高専技術振興会、エコプロダクツ2009）実施行事

教育技術センター

高専は、次代の地域社会のリーダーとして持続的社會を担う技術者、あるいはビジネスパーソンを育成することを目的としています。そのために、本校では、地域の自治体や企業、教育機関、NPO等の組織と連携し、互いに責任を持った教育（協働教育）を実施しています。

教育技術センターは、地域と協働した学生や地域人材の教育、教職員の能力向上のために、教育プログラムを企画・開発し実施するために設置されました。具体的には、CO・OP教育、キャリア

教育、知財教育、安全教育、ESD（持続可能な開発のための教育）の実施。地域の人材育成のための公開講座、出前授業、サイエンス実験、フレッシュエンジニア研修などを実施しています。

学内では、学校の主人公である学生をサポートするために、教員、コーディネーター、技術職員、事務職員からなる協力システムをつくり、学生が継続的に学べるように従来からの教育手法の良い点を残しつつ新しい教育手法を導入しています。地域では、地域のリーダーとして活動する人材を



教育技術センター（専攻科特別演習、フレッシュエンジニアリング）実施行事

育成するために、ジュニアから技術者までの継続教育を実施しています。

これらの活動から、学生と教職員が“学び”を継続し、地域に必要な人材を育成するだけでなく、地域に必要な学校になることに努めています。

国際教育センター

現在、大規模な環境破壊や地域格差など地球が抱える問題に対する見識を持った人材、社会の持続的な発展を担うことのできる人材の育成が求められています。この期待に応えるために、富山高専がこれまで行ってきた創造的な専門知識・技術を身につけた学生を地域に輩出することに加えて、異なる文化や言語をもつ人々と協調・協働して、持続可能な社会を形成する素養のある人材の育成を目指し設置されたのが、国際教育センターです。一言でいうと、地域と世界をつなぐ専門家の育成がこの国際教育センターの使命と言えるかもしれません。

このセンターでは、学生の国際交流、学術交流、地域貢献などの活動を通し

て、国際的な視野をもつ技術者、ビジネスパーソンの育成を目指し、また専門知識や技術を用いた問題解決能力をもつ人材の育成も行うための体系的な施策と企画を実施しております。具体的には、国際学術交流協定大学との交流の支援、海外インターンシップの企画・実施、海外留学の支援、留学生受け入れ支援、語学教育の充実のサポートなどを行っています。



国際教育センター（英語ライティング講座、専門の外国人による指導）実施行事

留学生紹介

3年 機械工学科

ムスリム ビン アブドゥル バシット



私はムスリムと申します。マレーシアから参りました。KLCC (Suria KLCC) を聞いたことはありませんか。KLCCはマレーシアで一番高い建物で、マレーシアの一つの特徴です。マレーシアは3つの大きな民族に分かれています。マレー系と中国系とインド系です。色々な民族がいるけどマレーシアは平和な国です。でも技術的にマレーシアは日本ほどまだ発達していません。だから私たちここに来て日本の技術それとも日本の良い文化を学びに来ました。日本へ来る前に映画やテレビを見た上で日本はすごい国だと思いました。日本に着いた時東京の街を見て人々もいっぱい交通も便利なので思った通り立派な国です。東京から富山まで来た時初めて新幹線に乗って速くて音もあまり聞こえなかった。富山に着いて突然自分の田舎を思い浮かびました。私の田舎とほぼ同じの景色が見られました。東京のような大きい町ではなくて自然の景色も見られるので私はここに来てよかったと思います。



3年 電気工学科

アハメッド ホサイン



私はホサインです。バングラデシュから来ました。バングラデシュは南アジア地方の国でインドとミャンマーで囲まれています。バングラデシュは1971年に پاکستانから独立しました。バングラデシュの首都はダッカで国の人口はおよそ1億5千万人の面積は14万4千平方キロメートルで日本の約40%となっています。母国語はバングラ語で人口のおよそ80%はイスラム教です。日本に来た理由は何か国の為になることができなにか考え、その為には外国で勉強した方が国にいるよりも多くの機会が与えられると考えたからです。そして文科省の奨学生試験を受けて日本に留学することになりました。ちなみに数回の試験により日本に来ることが許可された留学生は5人で競争倍率100倍の難関でした。日本に来ることが決まってから日本について、人の暮らし方、国民性について調べたり、人に聞いたりしていました。日本に来てからの印象は気候が母国と比べて寒く、そしてとても綺麗な近代的な国であると思いました。現在外国で勉強する事の難しさを感じていますが、自分のために国のためになんげ続けたいと思います。

3年 物質工学科

アスマハニ ビンティ アヌアル

私は3年物質工学科のアスマハニで、マレーシアから来ま



した。マレーシアは東南アジアのマレー半島南部とボルネオ島北部を領域としています。隣接国はタイ、シンガポール、ブルネイとインドネシアです。マレーシアには3つの主な民族：マレー系、中国系とインド系からできています。マレーシアに極めておいしい食べ物があり、景色がすばらしい所たくさんあります。マレーシアは住みやすい国だと日本人の先生に言われたことがありました。今年の4月に私は他の3人の留学生と富山高等専門学校に入学し、今までは約5ヶ月間ぐらいたちました。日本は安全で便利な国だとずっと前から考え、やはり日本は思ったとおりです。来日前と来日後の日本の印象はあまり変わらないと思っています。マレーシアは技術的には日本よりまだまだ遠いレベルだと思ったため、私が日本に来てそのすばらしい技術を学びたいと思っています。

3年 物質工学科

ワーン ユアリー



私は ワーン ユアリーです。ラオスから来ました。日本に来る前に日本の教育が高いし、日本の国もきれいで、日本人も勤勉な人だと聞きました。そこで日本で勉強したいと思いました。専門だけでなく日本の文化も知りたいです。そして、日本国の美しさも見たいです。特に東京と富士山です。ご存知のようにラオスには海もないし、雪も降らない、それも見たいので、日本に留学しました。日本に来られて、本当にうれしかったです。見たいのを見ました。初めてやったことがたくさんありますから、いい経験と思います。ラオスは東南アジアに位置します。首都はビエンチャンです。北に中国、南にカンボジア、東にベトナム、西にタイ、西北にミャンマーと国境を接しています。五つの国に囲まれていますから、海がないんです。しかし、観光地がたくさんあります。ぜひ、遊びに来てください。

3年 情報工学科

ファム クアン タン



私は、ファム クアン タンです。ベトナムの首都ハノイから来ました。日本に留学した目的は、コンピュータ技術者になるために、いろいろな知識を身につけ、それを応用できるようになることと、日本文化を学びたかったからです。日本の漢字は覚えるのは大変ですが、一つ一つに意味があり、絵のようでとても面白いと思います。富山に来たとき雪が降っていてとてもきれいでした。ベトナムには雪が降りません。来年3年生でスキーに行くので、とても楽しみにしています。射水は田が多く、秋になると一面黄色くなって、ベトナムの田舎に似ていて懐かしくなります。コンピュータのことはもちろんですが、大好きな語学も頑張り、充実した留学にしたいと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

全国高専体育大会等

各種大会結果報告

本郷キャンパス

第45回 全国高等専門学校体育大会

柔道

男子団体	3位	
男子個人60kg級	3位	堀田 謙弥
男子個人73kg級	3位	山崎 一樹
女子個人52kg級	2位	家城みづき
女子個人63kg級	2位	白川 郁子



地区大会 準優勝の女子弓道部

第17回 全国高等専門学校将棋大会

将棋

女子個人戦	準優勝	高村咲也子
-------	-----	-------

第43回 近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校 弓道大会

弓道

女子団体の部	準優勝
--------	-----



団体全国優勝の女子バドミントン部

射水キャンパス

第45回 全国高等専門学校体育大会

バドミントン

女子団体	優勝	
女子ダブルス	2位	小川 紗貴、小川 梨沙
女子シングルス	3位	小川 紗貴

柔道

女子個人48kg級	3位	藤木 明歩
女子個人63kg超級	3位	日下 恵利

陸上競技

男子円盤投	1位	平田 健祐
女子100M	2位	杉本 有希
女子800M	3位	橋本 沙也

水泳

男子100m自由形	1位	川西 文也
男子200m自由形	1位	川西 文也
男子800m自由形	3位	坂上 侑弥

【特別表彰】

男子100m自由形 3年連続1位	川西 文也
------------------	-------

夏季グレードテニス大会

テニス

男子シングルス (Cクラス)	優勝	大石 朋弥
----------------	----	-------

講演会・講習会

本郷キャンパス

実施日	講演会等	題目	講演依頼先	参加人数
5月19日(水)	交通安全講習会 (4・5年)	平成22年度第1回 自動車・オートバイ交通安全講習会	富山中央警察署 交通第一課	125
5月26日(水)	自転車交通安全講習会 (1年)	平成22年度 自転車交通安全講習会	富山中央警察署 交通第一課	120
6月2日(水)	AED説明会	AED(自動体外式除細動器)の 取扱説明会	(株)ハイメック 高土 実	58
6月23日(水)	1年生特別講演会	非行防止について	富山県富山中央警察署 少年警察補導員 井越奈穂	120
6月30日(水)	2年生特別講演会	エイズ性感染症予防に関する 健康教育	富山市保健所 瀧波賢治	166



5/19 4・5年交通安全講習会



5/26 1年自転車交通安全講習会



6/2 AED説明会



6/23 1年特別講演会



6/30 2年特別講演会



8/1 サマー献血キャンペーン

射水キャンパス

実施日	講演会等	題目	講演依頼先	参加人数
5月12日(水)	交通安全講習会 (4年以上希望者)	原動機付自転車の正しい乗り方	射水警察署交通課	60
6月2日(水)	栄養指導講演会 (寮生1年生)	食生活を考えよう ～朝食の大切さと夜食の摂り方～	(社)富山県栄養士会	120
9月1日(水)	交通安全講習会 (2年生)	交通事故発生状況と 交通事故防止	射水警察署交通課	164



5/19 4・5年交通安全講習会



6/2 栄養指導講演会

平成22年度 北陸地区高専間の 外国人留学生交流会



「いなみ彫刻の里 創遊館」にて



「大島絵本館」にて万華鏡作り



練習船「若潮丸」の乗船体験



「高岡大仏」の前にて

北陸地区3高専に在学する外国人留学生の交流会を、10月9日、10日(1泊2日)の日程で、本校がホスト校となり実施しました。この交流会は、富山、石川、福井の3高専の留学生が一堂に会する機会を設け、留学生間の交流を深めることを目的として平成18年度から実施しているものです。今回はモンゴル、マレーシア、ラオスなど9カ国から26名が参加しました。

交流会1日目は、富山高専の練習船「若潮丸」の乗船体験や、射水市大島絵本館では万華鏡作りを体験しました。若潮丸に乗船中、天候はあいにくの雨模様でしたが、留学生は、外に出て周りの景色を見たり、写真を撮ったりと大喜びでした。また、船内では、船長や乗組員の方々と様々な質問やお話をし、海や船に興味津々の様子でした。

1日目の夜は、宿泊先の呉羽青少年自然の家で交流会を行いました。各学生の自己紹介では、日本に来て驚いたこと等を発表し、高専ごとに日本語の歌を披露しました。

2日目は、世界遺産の五箇山合掌集落や、井波彫刻、高岡大仏を見学し、日本文化に触れました。

天候はあいにくの雨模様となりましたが、留学生らは終始笑顔で、友情の輪を広げていました。

学寮 2010

本郷 仰岳寮スケジュール

前期

4	21 (水)	新入寮生歓迎会
5	11 (火)	第1回寮球技大会 (~12(水))
	19 (水)	寮避難訓練
6	18 (金)	寮ボランティア活動
7	14 (水)	焼き肉会
	23 (金)	寮内大掃除
	28 (水)	閉寮、寮教育後援会保護者会
	26 (月)	保護者懇談会 (~28(水))
8	31 (火)	開寮
9	30 (木)	寮内大掃除・部屋替え

後期

10	6 (水)	相撲大会
	30 (土)	仮装行列 (高専祭: 北斗祭PR)
11	5 (金)	北斗祭前夜祭
	6 (土)	北斗祭 (~7(日))
	10 (水)	すき焼き会
12	15 (水)	餅つき会
	17 (金)	寮内大掃除
	22 (火)	閉寮
1	10 (月)	開寮
	11 (火)	成人祝賀会
	12 (水)	第二回寮球技大会
	1月中	学寮たより第54号発行予定
2	8 (月)	予餞会
3	2 (水)	閉寮 (5年)、寮内大掃除
	4 (金)	閉寮 (1~4年)

射水 和海寮スケジュール

前期

4	5 (月)	新入寮生入寮式及びオリエンテーション
	14 (水)	自転車点検
	21 (水)	学寮防火訓練・新入寮生歓迎夕食会
	27 (火)	寮内大掃除
	28 (水)	寮生保護者会・閉寮
5	5 (水)	開寮
6	17 (木)	学寮会総会・学寮会長等選挙 男子1年部屋移動
	18 (金)	校門指導
7	14 (水)	学寮花火大会
	20 (火)	寮内見学・昼食 (~21(水))
	21 (水)	寮内大掃除
	22 (木)	閉寮
8	29 (日)	開寮
9	2 (木)	5年生激励夕食会
	28 (火)	男子部屋移動・寮内大掃除

後期

10	30 (土)	北斗祭PR・仮装行列
11	5 (金)	北斗祭前夜祭
	6 (土)	北斗祭 (~7(日))
	11 (木)	学寮防火訓練
12	20 (月)	学寮クリスマス会
	21 (火)	寮内大掃除
	22 (水)	閉寮
1	10 (月)	開寮
3	8 (火)	寮内大掃除
	10 (木)	閉寮



新入寮生歓迎夕食会



学寮会長選挙



花火大会



風呂掃除



食事風景



新入寮生歓迎会



新入寮生歓迎会



寮ボランティア活動



寮避難訓練



寮生球技大会

オープンキャンパス・公開講座

本郷キャンパス

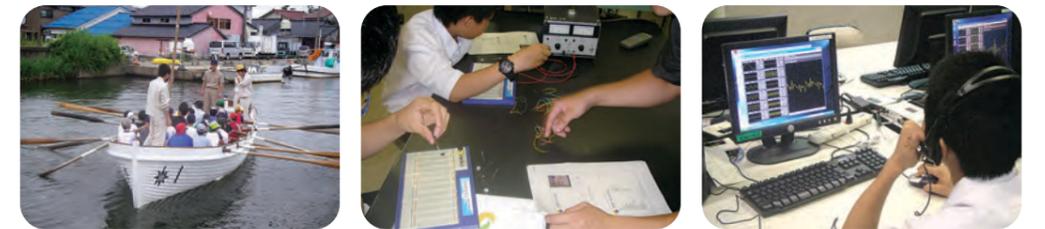
	講座名	担当教員	実施日	募集対象	参加者総数
オープンキャンパス	1 体験!! 3次元CAD (キャド) ～コンピュータでものづくり～		7/26 (月) 7/27 (火)	中学生	73
	2 音や振動の不思議・その実態を見てみよう		7/26 (月) 7/27 (火)	中学生	24
	3 電気をみる ～オシロスコープでおもしろ実験～		7/26 (月) 7/27 (火)	中学生	39
	4 マイコンを使って電子ルーレットを作ろう		7/26 (月) 7/27 (火)	中学生	38
	5 化学の力でどう変わる? ～におい・ニオイ・臭い・匂い そして“香り”～		7/26 (月)	中学生	34
	6 プラスチックと科学		7/27 (火)	中学生	38
公開講座	7 化学実験：染色と繊維の種類	津森 展子 川越みゆき	8/9 (月)	中学生	7
	8 技のしくみと力学	松井紳一郎 岡本 啓	8/19 (木) ～21 (土)	中学生	73
	9 ミニ化学者になろう!	畔田 博文	8/27 (月)	小学4～6年生	14
	10 まわれカザグルマ! まわれ3Dマンガキョウ!	津森 展子 上堀 博之	8/29 (火)	小学生	12
	11 化学であそぼう	畔田 博文	8/30 (月)	小学1～3年生	16
	12 放射線を見て・測ってみよう!	高田 英司 伊藤 通子 今井 英之	12/4 (土)	中学生	
	13 LEGOで相撲ロボットを作ろう	佐藤 圭祐	12月に開催	小学4～6年生	

オープンキャンパスの時間はすべて午前・午後各1回(120分)です。



射水キャンパス

	講座名	実施日	時間	募集対象	参加者総数
公開講座 オープンキャンパス	1 コンピュータを組み立てよう	7/23 (金)	9:30-16:30	中学生	2
	2 「若潮丸」の“航海”& “深海”体験講座	7/28 (水) 7/29 (木) 7/30 (金)	13:30-16:30	小学生・中学生 及び保護者	38
	3 モーターボート体験講座	7/28 (水) 7/29 (木) 7/30 (金)	9:45-11:25	中学生	32
	4 はじめての電子工作	7/28 (水) 7/29 (木) 7/30 (金)	9:45-11:25	中学生	23
	5 ロボットの頭脳とは ～LEGOを使ったプログラミング実験～	7/29 (木) 7/30 (金)	9:45-11:25	中学生	34
	6 ネットワークで遠隔操作しよう	7/28 (水) 7/29 (木)	9:45-11:25	中学生	19
	7 自分の声を目で見てみよう	7/28 (水)	9:45-11:25	中学生	13
	8 異文化について学ぼう	7/28 (水) 7/29 (木) 7/30 (金)	9:45-11:25	中学生	54
	9 国語の教科書を読み直す ～『走れメロス』は盗作か?～	7/28 (水)	9:45-11:25	中学生	6
	10 Enjoy English! (テレビ電話を使って話してみよう!)	7/28 (水)	9:45-11:25	中学生	3
	11 English at Kosen (高専で英会話)	7/29 (木)	9:45-11:25	中学生	11
	12 Let's speak English at Kosen (高専で英会話をしましょう)	7/30 (金)	9:45-11:25	中学生	1
	13 学生による各学科説明	7/28 (水) 7/29 (木) 7/30 (金)	9:45-11:25	中学生	25



共催事業

講座の名称	実施時期	時間	受講対象者	受講者数
国立立山青少年自然の家 (チャレンジ&チェンジ! 真夏のアドベンチャー2010)	8/5 (水)	10:00-15:45	小学5年生～ 中学3年生	42